



令和6(2024)年2月号
宝塚市立御殿山中学校

子供の才能の伸ばし方について

校長 藤川 明人

「子供の才能を伸ばす」といっても、何をどうすれば才能に結びついていくのか、はっきり分からないなあという方が多いのではないのでしょうか。

この問いに対して、知っておきたい理論があります。アメリカの心理学者アブラハム・マズローの「マズローの5段階欲求説」です。

5段階のピラミッド型が特徴です。土台の底辺は「生理的欲求」で、頂点は「自己実現欲求」です。これらの欲求の特徴は、2段階目を満たすためには、必ず前の段階が満たされていないといけないということです。つまり、3段階目である所属と愛の欲求を

満たしたければ、前の段階である安全欲求を満たしていなければなりません。4段階目である承認欲求を満たしたければ、前の段階である所属と愛の欲求を満たしていなければいけないということです。

第1段階の生理的欲求で、食事や睡眠を十分に取ります。

第2段階の安全欲求で、衣食住などを確保します。

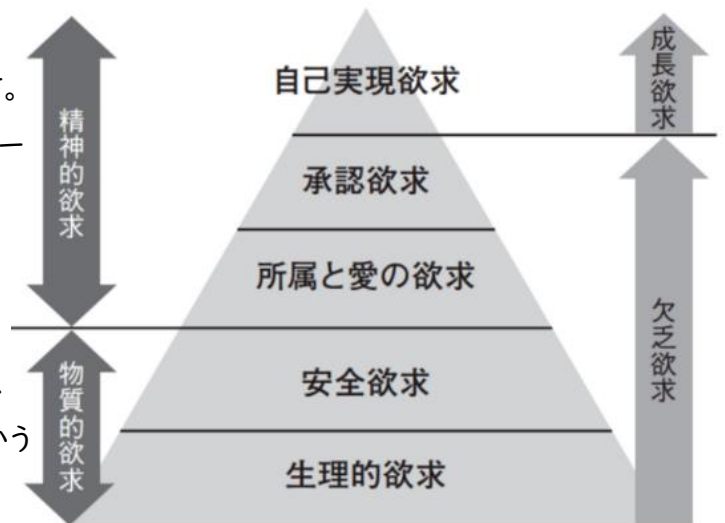
第3段階の所属と愛の欲求で、保護者等から十分な愛情を受け取ります。

第4段階の承認欲求で、保護者・教師・友人などから「褒められる」「認められる」という体験を積みね、自信をつけていきます。才能の発見や夢の追求がどこかという、ピラミッドの頂点に当たる5段階目「自己実現欲求」に当たります。

実は第1段階から第4段階までは、別名「欠乏欲求」と言われています。足りないものを補い、満たすという意味です。穴を埋めるための欲求です。それに対して、第5段階のみ「成長欲求」と呼ばれます。穴が埋め終わり、山を作るということです。自己の成長を促し、才能を発揮しながら社会の役に立てようとする欲求です。

さて、ここまでお話しすれば、子供の才能を伸ばすためにできることのぼんやりとしたイメージが、かなり具体的になってきたのではないのでしょうか。

子供に対して、いきなり「才能を伸ばしなさい」と言っても、酷な話です。才能を発見したり伸ばしたりする



には、まず「生理的、安全、所属と愛、承認」の「欠乏欲求」を満たす必要があります。保護者が子供の才能を発揮してもらいたければ「生理的、安全、所属と愛、承認」の4つの要素を、十分に与えることです。

その段階を経て、子供は自ら自然と「夢を叶えたい、才能を発揮したい」という成長しようとする気持ちになります。これが子供の才能を伸ばす大前提なのです。

どうぞ、各ご家庭でお子様の「生理的、安全、所属と愛、承認」の欲求が満たされているかを振り返り、それらの欲求の充足に心を配っていただきたいと願っています。

2024（令和6）年2月の学校行事					17:00最終下校	
1	木	⑤防災学習講和 専門委員会	16	金	部活停止期間 公立2月入試（一部）	
2	金	学校運営協議会 職員会議	17	土	↓	
3	土		18	日	↓	
4	日		19	月	↓	
5	月		20	火	期末テスト（給食なし）公立2月入試発表	
6	火		21	水	期末テスト（給食なし）	
7	水		22	木	期末テスト（給食あり）	
8	木	⑥全校集会	23	祝	天皇誕生日	
9	金		24	土		
10	土	私立入試	25	日		
11	祝	建国記念の日 私立入試	26	月		
12	祝	振替休日	27	火		
13	火	部活停止期間（22日朝まで）	28	水		
14	水	↓	29	木		
15	木	↓公立2月入試				

御殿山中生の活躍

○2学期多読賞

1年生

第1位 95冊 1年2組

第2位 63冊 1年3組

第3位 58冊 1年3組

3年生

第1位 89冊 3年1組

第2位 51冊 3年3組

第3位 29冊 3年1組

2年生

第1位 188冊 2年5組

第2位 99冊 2年2組

第3位 85冊 2年3組



寒い時期はお家で読書もいいポン！
裏面にも続きます！

○第4回 短歌研究ジュニア賞（中学生の部）

千葉聡賞 2年2組

「文化祭合唱の指揮する腕が音楽になる蝶々になる」

○私の折々のことばコンテスト2023（中学生部門）

佳作 1年5組

「走らなくていい 止まりさえしなければ」 おかあさん

僕が産まれる1年程前に、祖父は亡くなりました。祖父が僕の母に送った最後の年賀状に、この言葉が書いてありました。

祖父は毎年400枚の年賀状を、お気に入りの万年筆で手書きしていたそうです。最後に届いた年賀状の文字は、ぶるぶると震えていました。きっとがんの治療が辛かったんだろうと思います。

僕はとても心配性で怖がりです。周りの人と同じように出来ない事が色々あります。あせってしまうし、泣きたくもなります。そんな時に母がいつもこの言葉を掛けてくれます。母にとって心の中にある大切な言葉が、今は僕にとっても大切な言葉になっています。

